



KOFU21
Chartered 1990

THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A.
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

山梨県甲府市中央5丁目4-11
山梨YMCA青少年センター
〒400-0032 TEL 055-235-8543
FAX 055-235-8653

国際会長主題
アジア会長主題
東日本区理事主題
あずさ部長主題
甲府21会長

Mission with Faith 信念のあるミッション
Through Love, Serve 愛をもって奉仕をしよう
原点に立って、未来へステップ
ワイズメンとして一歩前進
小さなことを忠実に行動

2015
9月号

★今月の聖句★

初めに言^{ことば}があった。言^{ことば}は神と共にあった。言^{ことば}は神であった。

この言^{ことば}は、初めに神と共にあった。

万物は言^{ことば}によって成った。成ったもので、言^{ことば}によらずに成ったものは何一つなかった。

ヨハネによる福音書1章1-3節 葉袋 勝 選

2015年9月例会

日時 2015年9月1日(火) 17:00 ~
会場 YMCAセンター
司会 功刀 弘メン

開会点鐘	駒田勝彦会長
ワイズソング	
ワイズの信条	
会員一言	葉袋 勝メン
会長挨拶	駒田勝彦会長
ゲスト・ビジター紹介	駒田勝彦会長
来賓ご挨拶	
ハッピーバースディ	
会員卓話 「1. 家系	
2. 海との接点、ヨットレース」	廣瀬 健メン
諸報告	
YMCAの歌	
閉会点鐘	駒田勝彦会長

ワイズメンズクラブ モットー

『強い義務感をもとう
義務はすべての権利に伴う』
『To acknowledge the duty
That accompanies every right』

9月の誕生者

(メン)
松村禎夫(3) 古屋秀樹(11) 清藤城宏(14)
(メネット)
興水希代子(4) 駒田元子(11) 功刀佳津子(23)

8月のデータ (在籍数18名)

8月例会出席者数	14名
メネット8名	ゲスト17名
計39名	
8月第二例会出席者数	12名
出席率 14/18	77.77%
ニコニコ募金	100円
ニコニコ募金累計	1,300円

●●●● 今後の予定 ●●●●

○9月15日(火) 第2例会	YMCAセンター ~若奴食堂	18時30分~
○9月26日(土) ~9月27日(日) 富士山例会	詳細は9月例会で	
○10月6日(火) 例会	YMCAセンター	19時00分~
○10月18日(日) あずさ部会		

2015-2016 年度 9 月

会 長 挨拶

会長 駒田 勝彦



杜鵑(ホトトギス)は秋に咲きますが、これは夏に咲きます。溪谷や水辺に近いところに咲きます。和名は、黄花であることから、山吹(ヤマブキ)の名所である京都の玉川にちなんだものと言われています。

<写真：タマガワホトトギス 西沢溪谷>

夏の行事が終わりに近づきましたが、厳しい暑さが続いて来たことでなんとなく疲れを感じています。皆様方はいかがでしょう。

今年も夏の恒例、高校野球大会決勝戦は、良い大会で力が入りました。東北の復興支援に優勝旗が行くといいなと思いつつそちらに応援をさせていただきます。

東北復興にご尽力されています、仙台青葉城クラブ清水 Y'S からこれにちなんで新クラブ設立応援のための募金の呼びかけがありました。素晴らしいタイミングと思います。

私の東日本区理事の時に本当に盛岡、仙台の皆様にお力をいただきました。新クラブ設立へ応援をしたいと思えます。



8 月 23 日は、甲府21クラブの恒例ぶどう棚の下の納涼例会が他クラブやクラブ員の友人達を交えて行われました。

初めに参加して下さった皆様共々で中島 Y'S の召天を追悼して黙祷をいたしました。皆様心が合わせていただきましたこと感謝でした。懇親会でのお一人お一人のスピーチに中島 Y'S に触れて下さり改めて各方面でお働きがあったことを知ることができました。

初めてこの例会に参加くださった皆様、遠方よりご参加くださった他クラブの皆様ありがとうございました。

8 月 納 涼 例 会 報 告

寺田 喜長書記

日 時 8 月 23 日 (日) 17 : 00

場 所 金桜園

出 席 者

メン＝ 相川、稲垣、鎌田、功刀、駒田、佐藤、茅野、寺田、奈良田、野々垣、廣瀬、松村 (豪)、葉袋、山縣、(14 名)

メネット＝ 相川、駒田、寺田、野々垣、廣瀬、松村、葉袋、山縣 (8 名)

ゲスト＝ 眞野玄範 (長坂聖マリア教会司祭)、

久保田貞視、長谷川あやこ (八王子クラブ)、岡崎修武、木村浩通、船山良三 (八王子クラブゲスト)、宮内友弥、ひろみメネット (東京多摩武蔵野クラブ)、神谷幸男、雅子メネット (東京西クラブ)、田草川すみえ (甲府クラブ)、荻野清、優子、田草川哲、

貴子、小沢悦子、小沢智之

(野々垣メン友人) (17 名)

総勢 39 名

司会 = 鎌田メン、

聖句、一言 = 松村 (豪) メン





夕暮れに向かい涼風が吹き抜け始めた定刻に、葡萄棚下の納涼例会が駒田会長の点鐘にて開会しました。去る8月9日にご逝去されました故中島竹男メンに黙祷を捧げご冥福をお祈りいたしました。参加された多くの方から哀悼の辞を頂き故中島メンの人柄が偲ばれました。ゲストの紹介、そして眞野司祭より来賓挨拶を頂きました。誕生祝では、毎年大勢の方に祝って頂くのはうれしいが、一言喋るのは苦痛ですとのコメントもありました。いつものバーベキュー、ワインの懇親会では、沢山のゲストの方々からいろいろなお話をして頂



くことが出来、大勢の方をお迎えしての例会が有意義であることを再認識しました。さらに、ゲストの中に、入会の可能性のある方がおいでになり希望をも持てる例会でした。

酷暑の続いた今年の夏にしては凌ぎ易い恵まれた環境の中での例会は、盛会の内に定刻に終了となりました。



会 員 ペ ン リ レ ー

「マスゴミ？」

寺田 喜長メン

突然の、忌まわしい事件から2年半が経ち、あまり触れたくなかった出来事でしたが、関係者の家族として経験したことの中で親族を失った悲しみと同じくらいに心に残っている事が有り、身勝手の感想ですが述べても良いかなと。

2013年2月26日、夕刻のニュースはエジプトで観光気球が墜落し、日本人観光客が巻き込まれた事を伝えていました。その年は、邦人が海外で事件に巻き込まれる痛ましい事件が続いておりました。1月16日にアルジェリア人質事件がイスラーム系武装集団により引き起こされ、連日、終日、報道各社が生々しい状況を伝えました。アルジェリアの天然ガス精製プラントが襲撃され、化学プラントの建設に係っていた「日揮」の日本人社員10人が死亡しました。2月12日にはグアム島で通り魔事件が発生し、日本人2人死亡し、11人が負傷しました。この事件の報道も、毎日詳しく伝えられ国民の多くが関心を持ち海外の事件ではあるが事件の背景、本質、経過状況等を詳しく知ることが出来ました。しかし、事件に巻き込まれた方々や、不幸にも亡くなられた方の親族の方たちへの無神経とも思われる取材には、如何かなと感じておりました。「又、大騒ぎだわ」と他人事といつもの様に事件経過に関心を持ち、テレビニュースを見ているところへ、普段音沙汰の無い甥から電話が来、思わず「ひさしぶりだなー、どうした」との問いに「父、母がエジプトの気球事故で亡くなりました」との報告、何を言っているか、初めは理解できませんでした。甥の声も冷静で、慌てている様子もなく淡々と話すことも逆に事の重大さに気が付くのが瞬時遅れたと感じました。間もなく事故に遭遇した日本人観光客4人の内2名の死亡が確認され弟夫婦の氏名と本籍が甲府市との報道が有りました。弟は高校卒業以来県外に出てしまい、この人物が私の弟と知るの本当に親しい親戚だけです。その内の一人よりある新聞社から電話が有り事件関係者の親族ですかと、問い合わせが来たと教えてくれました。電話

帳の寺田姓を端から電話し情報収集をしていました。間もなく電話での問い合わせが来ました。弟であることを伝えると、いろいろと質問をしてきました。やはり事件関係者の心情より報道という仕事優先ではと思いました。以前に起こりました事件の報道を見ながら行き過ぎと感じていた事が現実となりました。お答えできませんと電話を切りました。暫らくして外出しようとして表に出るとその新聞記者が待ち構えていました。申し訳ないという様子でしたがずけずけと問うてきましたがお答えできませんとお断りました。半日後に私が現地に向かう時はまだ家の前に立ち続けていて、なんと旅の無事を祈りますとお守りを手渡してくれました。そんな気使いは有りがたかったですが、その後多くの報道関係者が自宅に押しかけ、妻は友人宅に避難しましたが、近隣の方々に取材を繰り返しかえし多大な迷惑をお掛けすることとなりました。この後現地との往復の6日間マスコミ攻勢にいかに対応するか、苦慮することとなりました。弟夫妻たちの旅行ツアーを企画した旅行会社がマスコミ対応には多大な配慮をして下さいましたが、現地でも行く先々に大勢の報道関係者が待ち構え、いつも裏道を秘かに移動する感じでした。強靱な体格のガードマンが1人1人につき、近づくカメラマンを突き飛ばすようなバトルも有りました。観光に来ている訳ではありません。いやな事を仕方なくする為に傷心を負いながら来ている事をもう少し配慮いただけないかなとの思いを、今も持っています。斎場探しにも苦労しました。弟が住んでおりました周辺の斎場からは、何かと対応が大変ですので引き受けられませんか断れました。思わぬところにも報道過熱の影響が有り、驚きました。身内に元報道関係者がおり、仕事として私情を捨て任務を遂行するのも分からないではありませんが後味の悪さが倍増した思いでした。出来事、情報を伝えることは大切です。どんな範囲、段階まで報道するかは難しいです。多数の犠牲者の出たアルジェリア人質事件では氏名公表に、一時報道規制も出ていました。しかし最終的には公表することになりました。いきさつは解りませんが、其れにより犠牲者家族への取材攻勢が有った事はご存知の事と思います。行き過ぎと思われる報道活動は自粛して、「マスゴミ」と言われぬ程度に情報を提供して頂きたいと思います。

山梨 YMCA ふじやまキャンプ報告

駒田 勝彦メン

参加者：松村(豪)、佐藤、茅野、駒田



8月21日山梨YMCA夏のプログラム「ふじやまキャンプ」が清里・八ヶ岳少年自然の家で行われました。以前からの計画は午前10時からの奉仕予定でしたが、急遽プログラムの変更の連絡がありました。

対応に苦慮しましたがYMCAとの調整を行い参加できる者が対応することで午後の2時に現地到着しました。甲府21は子供たちにスイカ割りを楽しんでもらうことにしました。

多少の雨模様でしたが、スイカ割りを実施する頃には雨も上がりました。

子供たちは大喜びでスイカ割に挑戦、なかなかスイカを叩くことができません、応援する者が声を枯らし右、左とかけます。大変な盛り上がりでした。最後に皆でスイカを頂き終わりました。



